



会報

No.141

宮崎県教育研究連合会

事務局 宮崎市西池町 9-8(校長会館内)

TEL・FAX (0985)27-4508

<http://www.miyakyoukenren.sakura.ne.jp>



長風破浪會有時 直挂雲帆濟滄海

宮崎県教育研究連合会 会長 榑木 満

この漢詩は、李白の雑言古詩「行路難」の最後の部分です。その後半の四行は次のようになっています。

行路難 行路難 多岐路 今安在 長風破浪會有時 直挂雲帆濟滄海	行路難し 行路難し 多岐の路 今安くにか在る 長風浪を破るに會ず時有り 直に雲帆を掛けて 滄海を濟らん
--	---

(※自己流にかなり意識します。)
(人生の)行路は困難だ。(教育も)ほんとは行路は困難だ。別れ路が多すぎて、私たちの進むべき道は、どっちにあるかわからない。しかし、強風に乘じて、万里の浪をのりこえられる、そういう時は必ずやってくる。その時こそ、まっしぐらに雲のように速い帆をかけて大海原をわたつていこうではないか。

◆ ◆ ◆
新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりは、我が国がこれまで経験したことのない未曾有の出来事であり、まさに国難と言えるものです。医療の最前線で懸命に努力されている関係者の皆様を始め、行政当局はもとより、市民一人一人が一丸となって感染症の封じ込めを行う必要があります。しかし、学校で何をどうすればいいのでしょうか？ 臨時休業での学習の遅れをどう取り戻せばいいのでしょうか？ 教育課程で計画された多くの教育活動もできなくなっていますが、どう補えばよい

のでしょうか？ 考えなければならぬ問題はありません。

先漢詩「行路難」は、李白が自らの人生行路の困難を詠うものです。食事も喉を通らず茫然としてあたりを見回しますが、八方ふさがりの状態です。「人生行路は難しい。岐路は多く、どこへ行けばいいのか？」と悲鳴をあげながらも、「長風が浪を破る時必ずある」と将来に期待を寄せています。李白は、この詩を詠む直前に朝廷を放免されたとの説もあり、そのショックと絶望感を詠んだのかもしれない。

しかし、どんな困難な状況でも、どんなに困難な問題でも、必ず、解決の方法はあるはず。一人の個人の力では難しくても、諦めず、皆で知恵を出し合い、力を合わせれば、解決の糸口は掴めるはず。と、今度の感染症問題の対応について、三月に宮教研連は全日教連から意見を求められ、私は、数名の支会長さんにも相談し、学校現場が窮している状況をいろいろと説明し、必要な事項を提言しました。すると、その後、文部科学省が発表した「臨時休業の実施に関するガイドライン」や「学校再開ガイドライン」、四月七日に発表された「緊急経済対策パッケージ」等に多くの事項・内容が盛り込まれたのです。

◆ ◆ ◆
このことは、個々の教員の力では解決できない困難な問題でも、組織の力で、皆で知恵と汗を出し合えば、必ず、解決に繋がるといふ証とも思えてきます。

◆ ◆ ◆
宮教研連が全日教連に加盟しているメリットは大きく4つあると思います。

- ① 全国規模の研修の機会(高める)
- ② 互助・保険・年金制度(守る)
- ③ 教育環境・条件の整備拡充(拡げる)
- ④ 全国規模の「会員とのつながり」

私は特に忘れがちな③と④にもっと注目する必要があります。宮崎県は人口百万人程度であり、人口一億二千万人の国に対する宮崎県の重みはわずかに百二十分の一程度です。例えば、数年前の例ですが、全国で千名の小学校外国語指導教員が増加された時でも、宮崎県はその0.9%のわずかに九名しか加配されませんでした。裏を返すと、それと同じように、宮崎県の思いや考えは、国には百分の一以下にしか届いていないのではないかと思っています。

しかし、我々には幸いにして全日教連という国・文部科学省と協力関係にある「窓口」があるのです。そして、全国に同じ思いを共有できる「仲間」がいるのです。宮教研連は全日教連を発足させた中心団体の一つであり、全日教連の初代委員長は元西池小学校長で宮教研連会長であられた故川崎哲夫先生です。それだけに、全日教連での発言力ももっています。

◆ ◆ ◆
宮教研連が組織を強化し、体力を付けることは、全日教連を通して、情報を提供したり意見を述べたりする力を持つという意味を持っています。今こそ力を結集し、この国難を乗り越える時だと考えます。
時は今！ 雲帆を高く掲げて、滄海にこぎ出す時ではないでしょうか？

★お知らせ★
令和二年八月一・二日に宮崎市で開催予定であった教育研究全国大会宮崎大会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期(または中止)することが決定されました。詳細が決まり次第、お知らせします。

令和2年度 副会長、各支会長・理事長紹介



和田保典会長
(宮崎支会)



水永正宗理事長
(宮崎支会)



宮崎宏子会長
(南那珂支会)



真方悟史理事長
(南那珂支会)



小島敏郎会長
(都北支会)



竹下龍祐理事長
(都北支会)



多良真知子会長
(西諸支会)



杉山真一理事長
(西諸支会)



内之八重正裕会長
(西都・児湯支会)



富田兼三理事長
(西都・児湯支会)



白地浩会長
(日向支会)



安治川洋平理事長
(日向支会)



濱砂一徹会長
(延岡支会)



東坂将秀理事長
(延岡支会)



興枿良治会長
(西臼杵支会)



濱田公一郎理事長
(西臼杵支会)



田中ちどり副会長

宮教研連は、教職員としての人格見識の高揚に努め、研修の充実を図り、宮崎県の教育水準の向上に努める教職員の研修団体です。県内に8つの支部を置き、約900名の会員数を有しており、県本部と各支部で様々な研修を実施しています。

宮教研連HP & 研修会Web申込

宮教研連では、これまで以上にHP・Webでの情報提供に力を入れ、研修案内や報告、ダウンロードページ等、内容の充実を図っています。是非、ご覧ください。URLは以下です。(「宮教研連」で検索!)

<http://www.miyakyoukenren.sakura.ne.jp>

また、令和2年度から県主催の研修がWeb上から申込できるようになりました。PCでも携帯端末からでも利用できますので、ぜひ、ご活用ください。

宮教研連メールグループ(mkkkr-MG)

宮教研連では、研修会の開催情報やその他の役立つ情報を会員お一人お一人にお届けするために、メールグループを立ち上げました。これは、GoogleGroupsの無料サービスを利用して提供するものです。ぜひ、全ての会員の皆様にご登録頂きますようお願いいたします。

ご登録は mkkkr.mlist@gmail.com (右QRコード)まで、「宮教研連MG参加希望」とお書きの上、メールをお送り下さい。おおよそ1週間以内には登録されます。



宮教研連 **教師力向上研修** すぐに役立つ授業のヒント!

新採・講師歓迎 豊富なアイデア

- ①:7月25日(土) 国語科指導 講師:未住祐子先生 (会場:宮崎県教育研修センター)
- ②:10月24日(土) 道徳教育 (会場:小林市内)
- ③:11月14日(土) 内容未定 (会場:日向市内)
- ④:1月24日(日) 内容未定 (会場:宮崎市内)

令和2年度 **スクーリングマネジメント研修**

- ①:6月20日(土) 管理職試験対策、他 講師:梶木満
- ②:8月29日(土) 学校教育の課題と対応 講師未定
- ③:10月31日(土) 企業経営と学校経営 講師未定